

32 埼玉県 草加市

やこた
谷古田用水

水源	導水方法	導水管所	水環境上の問題
工業用水	新設管路	河川・水路	水質悪化・悪臭 親水性・景観



※地図中の破線枠は次ページの地図範囲



対象地域の概要

・地域の概要

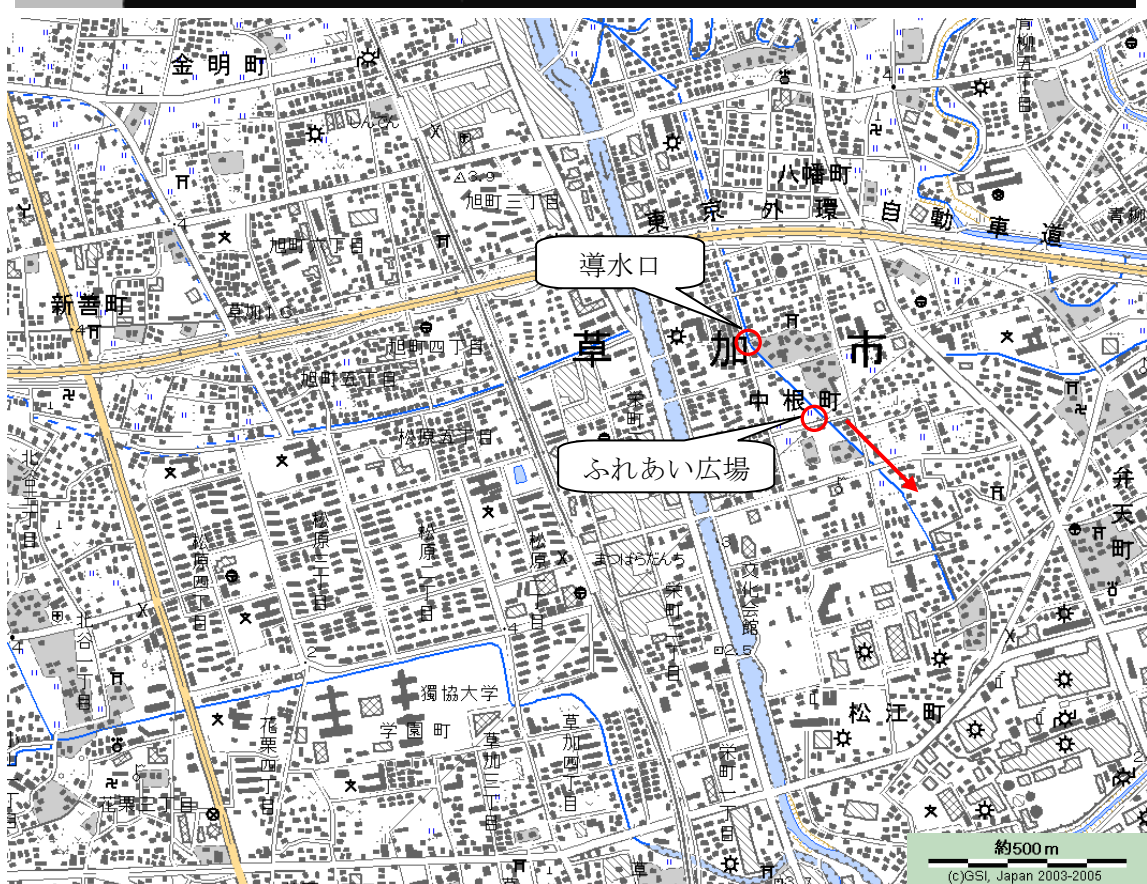
草加市は、埼玉県の東南部に位置し、市域の南部を東京都足立区に接しています。水と緑に恵まれた中川、綾瀬川下流域にひらけた東西 7.24km、南北 7.6km、総面積 27.42km²の都市です。昭和 33 年 11 月 1 日、人口 3 万 4878 人で市制を施行しました。

昭和 37 年の東武伊勢崎線と地下鉄日比谷線の相互乗り入れや、当時マンモス団地といわれた松原団地の造成等により、昭和 38 年に人口が 5 万人を突破し、昭和 43 年には、県下 8 番目の 10 万都市になりました。東京近郊という立地条件の良さも相まって、昭和 50 年代後半から人口は急激に増え、23 万人を超える都市となっています。

草加市では、地球環境をはじめ、少子・高齢化、高度情報化、国際化といった時代の変化をしっかりと見据えながら、「いつまでもこのまちで暮らしたい、このまちで子どもを育てたい」と思われるような快適都市の実現をめざし、市民と行政のパートナーシップにより、まちづくりを進めています。（草加市ホームページより）

・対象水域の概要

灌漑期については、利根大堰から取水された農業用水が葛西用水から分水され、利用されていますが、水田が 1～2 枚程度、わずかにあるだけで農業用水としてはほとんど利用されていない状況にあります。また、部分的に生活雑排水も流入しているようです。



<p>対象地域の概要</p>	<p>・水環境上の問題：<u>水質悪化・悪臭</u> 生態系悪影響 <u>親水性・景観</u></p> <p>灌漑期、非灌漑期に関らず、水利用を目的として営農者が必要ときには利根川から農業用水を取水していましたが、昭和40年代に利根大堰が建設されてから、冬期通水（9月上旬～4月中旬頃）が停止しました。灌漑期は水量が豊富ですが非灌漑期は水量が低下し、一部の周辺住民から導水の要望が出されるようになりました。草加市としても、当時、水環境の改善を重要な政策の一つとして位置づけていたため、両者の思惑が一致したと言えます。</p>
<p>目標</p>	<p>・目標像</p> <p>導水事業そのものの目標については不明で、親水性と関連のある水路の整備事業についても、目標は不明です。導水事業自体の目的は「親水性の向上」です</p> <p>・目標値</p> <p>これは、定量的な目標を掲げても、住民には馴染みがなくわかりにくい面があり、むしろ“見た目”がどうなるかを示した方が、住民にとっても、直感的で分かりやすく、意味があるとの考えに基づいていると思われます。また、導水事業自体の目的は「親水性の向上」ですので、そうした観点からも水質の目標を定めなかったのだと考えられます。</p>
<p>水源</p>	<p>・水源</p> <p>工業用水を導水しています。</p> <p>・他の水源</p> <p>利根大堰が設置される以前は、冬期も利根川から通水していたことから、利根川からの通水についても検討を進めています。これについては、関係主体によって設置された「冬水懇談会」での調整により、すでに他市等で試験通水として通水が実現しています。</p>

導水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 導水量 工業用水の取水量は 100 m³/day です。 ・ 理由 水量の算定根拠などについては不明です。
方導法水	工業用水幹線から分水し、水量計を設置した上で、導水しています。導水地点は草加市中根 2 丁目 241 番地 3 号付近です。
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用 <ul style="list-style-type: none"> <初期費用> 不明 <維持費用> 1,233 千円 工業用水は 1 m³当たり 29 円 29 銭です。初期費用は不明です。 ・ 内訳 <ul style="list-style-type: none"> <初期費用> 工業用水の給配水の幹線から分水するための、幹線から導水地点まで給水管の設置 <維持費用> 工業用水の購入費用のほか、水量計の維持費用 中根町会等が自立的に清掃等の維持管理を実施しています。 ・ 負担主体 <ul style="list-style-type: none"> <初期費用> 草加市 <維持費用> 草加市環境課、中根町会等 ・ 補助 なし
関係主体者との調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調整内容 環境用水の導水については、「ふれあい広場」を手づくりするなど、積極的な活動を従来から続けていた中根町会からの強い要望がきっかけでした。 ・ 関係主体と主な役割 埼玉県企業局：工業用水の給水 冬水懇談会：埼玉県が事務局となり利根大堰からの試験通水を実施 中根町会：環境用水の導水を要望、維持管理活動の継続
効果	目に見えて問題が改善されたとは言えませんが、データから総合的に見ると改善されてきているようです。水路の整備事業と併せ、親水性や景観は格段に向上したと考えられます。
課題 今後 の 時 ・	財政状況から見て、工業用水の継続的な購入は割高感があります。
き注 事目 項す べ	地元住民の積極的な活動が、環境用水の導水を後押ししています。継続的な維持管理も地元住民が積極的に参加しています。
リ及資 ンび料 グヒ提 先ア供	埼玉県草加市市民生活部環境課：048-922-1520
工参 モ考	埼玉県草加市： http://www.city.soka.saitama.jp